



名称	のぞきからくり
よみがな	のぞきからくり
指定	市指定
種別	民俗文化財
種類	有形民俗文化財
所在地	円一町二丁目
所有者	三原市
指定年月日	令和2（2020）年10月21日
時代	大正から昭和時代初期
公開状況	公開
交通案内	J R 三原駅から徒歩約10分

【解説】

のぞきからくりは、縁日などで活躍した大型の紙芝居様のものである。幅約250cm、高さ約145cm、奥行約100cmの半円柱状の箱「ガラ箱」に22個のレンズが備え付けてあり、この直径約6.5cmの凸レンズから箱の中を覗くと、ガラ箱の中にある絵「ナカネタ」が拡大されて見ることができる。押し絵により描かれたナカネタは複数枚あり、のぞきからくりの背後にあるひもを引くと、ナカネタは上部に引き上げられ、その後ろから現れた別のナカネタをレンズからのぞくことができる。